

## 地 域 再 生 計 画

### 1 . 地域再生計画の名称

人と自然に育まれ温もりのある交流のまちづくり

### 2 . 地域再生計画の作成主体の名称

島根県鹿足郡津和野町

### 3 . 地域再生計画の区域

島根県鹿足郡津和野町の全域

### 4 . 地域再生計画の目標

津和野町は、平成 1 7 年 9 月に津和野町、日原町の 2 町で合併誕生した町であり、島根県の最西端に位置し、面積は 307.09 km<sup>2</sup>で北に益田市、南に吉賀町、西は山口県阿東町、萩市に接しており、広島県、山口県にも比較的近いという地理的条件から山陽側との社会的、経済的な関わりの強い地域である。

又、中山間地に代表的な盆地の多い地形で町の中心部には一級河川高津川と津和野川が合流し、日本海に注ぎ、気候は内陸的気候で比較的温暖であり、冬の冷えこみは厳しいものの年平均気温は約 1 4 度で比較的住みやすい気候である。

当地域は、1 3 世紀吉見氏の統治によって津和野藩が始まり、以後 7 0 0 年の歴史を誇る城下町でもある。

主な交通網は、国道 9 号線と J R 山口線があり、近くに中国自動車道六日市 I . C や益田市には萩・石見空港があり東京便が運行されている。

経済的状况では、農林業と観光業が町の基幹産業となっており、町内には多くの国指定史跡、名勝、文化財があり年間約 1 1 0 万人の観光客を集めている。

また一方では、急激な過疎化や高齢化が進み（6 5 歳以上の高齢者 3 7 . 8 %）これにより、国土保全の根幹を成す農地や農林の伝統的景観の保全に多大な影響を及ぼしている。

しかし、本町は「山陰の小京都」と呼ばれる城下町の中、その由来を持つ堀割の水路や津和野川には、泳ぐ色とりどりの多くの鯉が訪れる人の目を楽しませ又、ダムのない川として高津川では、天然の鮎のメッカとして、あるいはカヌー体験、オシドリ観察、川漁に都市間交流を深めている。

このことから、本町の有する「自然的資源」や「歴史的資源」を有機的に連携させ「人と自然に育まれ温もりのある交流のまちづくり」をテーマに地域の再生を図ることとする。

具体的な施策としては、近年生活様式の変化により、悪化している河川や水路など公共用水域の水質改善により、清流高津川、津和野川の自然界の生態系を守ると同時に、トイレの水洗化による生活環境の改善と地域の基盤整備を目標として、下水道及び合併浄化槽整備を推進する。また、森林整備地域活動支援交付金制度を活用し、森林の現況調査、歩道の整備など、森林づくりに欠かせない作業をすすめ、山の価値と機能をさらに高めます。

さらには、観光資源を有効に活かし、空港・道路網・JRなどを有効に活用した広域観光ルートの開発や形成を進め、ボランティアガイドや観光イベントの実施などにより地域住民と観光客の触れ合いや交流を図り、地域住民にとっても魅力ある地域づくりを行う。

これらの施策や地域づくりを推進することで魅力あるまちづくりを目指し、さらには本町の人口定住と観光立町のイメージアップと観光客誘致の促進を目指す。

(目標1) 污水处理施設の整備の促進

- ・ 污水处理人口普及率を 42.0%から 55.0%に向上する。

(目標2) 生活環境の改善と交流人口の増加

- ・ 交流人口を 110 万人から 115 万人に増加。

5. 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

地域再生計画の目標を達成するため、公共下水道及び合併浄化槽(個人設置型)事業による工事を実施し、宅内からの生活排水に始まる污水处理を効果的に行うことにより、悪化している河川や水路など公共用水域の水質改善を図る。

また、森林整備地域活動支援交付金制度を活用し、森林づくりに欠かせない作業をすすめ、山の価値と機能をさらに高めるとともに、地域観光交流空間づくりモデル事業実施により、地域づくりを推進することで魅力あるまちづくりを目指し、更には津和野町の観光振興の向上と観光客誘致の促進を目指す。

なお、下水道事業については、平成10年12月1日に下水道法による事業認可を既に受けている。

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

污水处理施設整備交付金を活用する事業

整備箇所等は、別添の整備箇所を示した図面による。

[事業主体]

- ・いずれも津和野町

[ 施設の種類 ]

- ・公共下水道、浄化槽（個人設置型）

[ 事業区域 ]

- ・公共下水道 津和野処理区（後田、森村地区）
- ・浄化槽（個人設置型） 津和野町全域  
（下水道認可区域、農業集落排水地区以外）

[ 事業期間 ]

- ・公共下水道 平成 18 年度～平成 22 年度
- ・浄化槽（個人設置型） 平成 18 年度～平成 22 年度

[ 整備量 ]

- ・公共下水道 150～300 6,395m
- ・浄化槽 150 基

なお、各施設による新規の処理人口は下記の通り。

- ・公共下水道 約 830 人
- ・浄化槽（個人設置型） 約 460 人

[ 事業費 ]

- ・公共下水道 事業費 478,000 千円  
（うち、交付金 239,000 千円）  
単独事業費 45,540 千円
- ・浄化槽（個人設置型） 事業費 57,375 千円  
（うち、交付金 19,125 千円）
- ・合計 事業費 535,375 千円  
（うち、交付金 258,125 千円）  
単独事業費 45,540 千円

5 - 3 その他の事業

- 5 - 3 - 1 地域再生基本方針に基づく支援措置による取組み  
該当無し

### 5 - 3 - 2 町独自の取組み

#### 萩・益田・津和野地域観光交流空間づくりモデル事業

各地域における既存の観光資源を有効に活かし、空港・道路網・JRなどを有効に活用した広域観光ルートの開発や形成を進めることで新たな魅力を創出する。

また、ボランティアガイドや観光イベントの実施などにより地域住民と観光客の触れ合いや交流を図り、地域住民にとっても魅力ある地域づくりを行う。

これらの施策や地域づくりを推進することで魅力あるまちづくりを目指し、更には津和野町の観光振興の向上と観光客誘致の促進を目指す。

#### スーパーモデル地区事業

津和野町まちづくり検討委員会でこれまで検討されてきた事項を踏まえ、歩行者の安全性と快適性の確保を目的に「津和野町人と環境にやさしい交通社会実験」を実施して参りました。

このことがきっかけで「津和野ボランティアの会」など、住民の中から「地域の活性化や観光振興」を図る動きが活発化し、新たに「みちを活用した地域の活性化と観光振興」を検討する場として、「観光ソフト部会」を設立し、今後は、「みち」に関する観光振興について検討・議論して行きます。

#### 立ち上がる産地育成支援事業

農産物の生産・加工・流通・販売までの一体的な活動に積極的に取り組むことにより、産地の利益拡大を図ることを事業の趣旨とする本事業を、本町の地域特産である「わさび」と「山の幸(タラの芽等)」に導入し 消費者から支持され、産業として自立・発展する力強い農業の振興を図る。

#### 森林整備地域活動支援交付金事業

認定を受けた森林施業計画の対象となっている森林(30ha以上のまとまりがある団地)に対して交付される本交付金制度を活用し、森林の現況調査、歩道の整備など、森林づくりに欠かせない作業をすすめ、山の価値と機能をさらに高めます。

## 6. 計画期間

平成18年度 ~ 平成22年度

## 7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し、公表する。また、必要に応じて事業内容の見直しを図るために、整備状況等について評価

検討を行う。

- 8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項  
該当無し